

小規模自治体における ポピュレーションアプローチ型 「親子遊び教室パッケージ」の 開発と実践



国際医療福祉大学 作業療法学科

4年 小山田 唯翔

担当教員 関森 英伸

国際医療福祉リハビリテーションセンター なす療育園

作業療法士 小澤 巴菜

はじめに（事業概要）

① 本事業の実施体制

「那須町子育て支援センター」「国際医療福祉大学」「なす療育園」が連携して実施 *作業療法学科教員、学生が参画

② 本事業の主目的

主な目的は「子育て支援」であり、発達が気になる子どもや、子育てに不安や困り感を抱く保護者を早期から支援すること

③ 本事業の取り組み内容

那須町で開催されている「親子遊び教室」の課題から、地域社会の実情に合わせたポピュレーションアプローチ型「親子遊び教室」を開発・展開し、有用性を検証する

④ 本事業の展望

開発したパッケージは、次年度以降、県内協力可能な小規模自治体にも導入し、すべての子どもと保護者を地域で支える体制づくりの一つのモデルとすることを計画

事業背景(活動地域の現状)

・栃木県那須郡那須町について

人口約23,000人の小規模自治体(大田原市:68,000人)
近年は人口減少とともに出生数も減少傾向

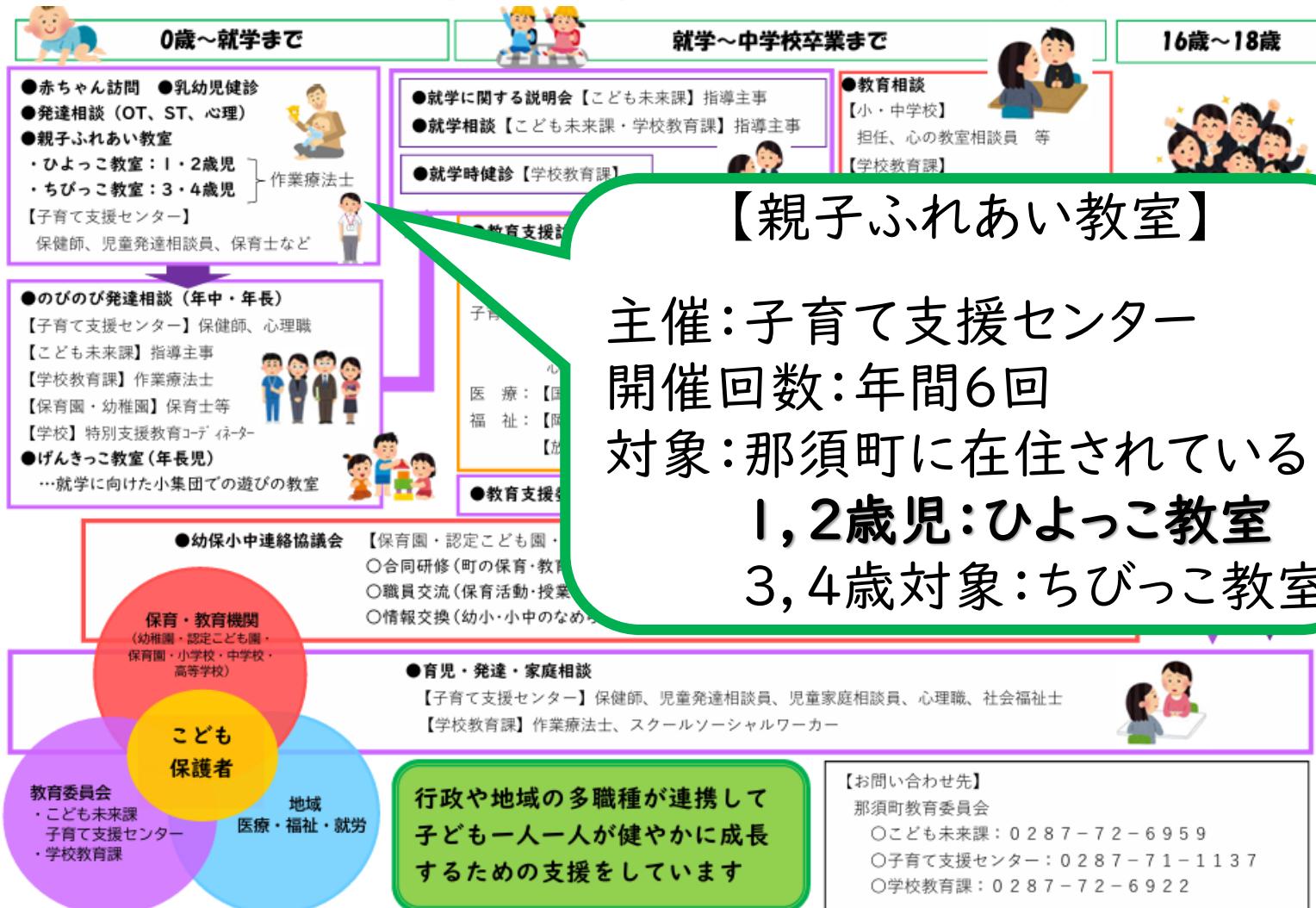


出生数(那須町の統計書)

H22	158
H27	132
H28	145
H29	111
H30	92
R1	107
R2	81
R3	85
R4	77
R5	55
R6	54

事業背景(活動地域の子育て支援体制)

・那須町の子育て支援体制(出生～成人まで)



事業背景（現「親子遊び教室」の課題）

・那須町親子遊び教室の課題

①参加しづらいイメージの存在

「親子遊び教室に誘われる=何か問題がある」と受け取る保護者が一定数おり、参加をためらう傾向

②対象者の少なさによる教室運営の困難

小規模自治体ではハイリスク児の人数が限られ、ハイリスク対象児のみでは集団として成立しづらく、安定した教室運営が難しい

③保護者支援の限界（事業利用の局所化）

核家族化が進み障がいの有無に関わらず子育てに不安を抱く保護者が増えているが、自治体事業の利用者は限定され、支援が届きにくい



子育て支援体制が整備されていても、現状の課題が放置されると乳幼児期の子育て支援は“脆弱化する”可能性が高い

事業背景(課題解決に向けて)

・先行研究より

ポピュレーションアプローチ*を用いた町全体で住民を支える活動が報告されている

*特定の問題を持つ人だけでなく、集団全体を対象に、広く・早く・偏りなく健康リスクを下げる目的とした一次予防の方法

高齢者分野:自治体による高齢者保健事業と介護予防

→フレイル対策健康教育や全住民への通いの場活動に
ポピュレーションアプローチを活用(厚生労働省2024)

母子保健分野:子育て世代包括支援センターにおける研究

→妊娠届・乳幼児健診で「ちょっと気になる」層の支援にも
つなげる仕組みを作ったポピュレーションアプローチ
(子ども家庭庁2024)

→子育て支援プログラムにおけるポピュレーションアプローチ
導入(三鷹市2022:令和4年度厚生労働省母子保健指導者養成研修より)

方法(ポピュレーション型の準備)

・ハイリスク型からポピュレーション型「親子遊び教室」へ

	ハイリスク型(従来型)	ポピュレーション型(今回)
対象者	1,2歳の健診や園生活等で発達が気になる児と家族(限定)	健診(1歳6ヶ月)対象児と家族(全員)
アナウンス方法	保健師、保育士等からの誘い 参加を続けることを推奨する	「健診のお知らせ」に「チラシ」を同封 健診回以降も参加できることを保障する
参加・実施方法	平日の午前中(年間6回) 予定に合わせて保健師から促し	平日の午前中(健診同日、年6回) 健診に合わせ午前中から参加促し
評価・経過	運営する職員(保健師、保育士、OT等)の観察・意見を文字で記録	ルーブリック評価表(可視化され、到達度合をチェックする表)で記録

ポピュレーションアプローチ型「親子遊び教室」の特徴:

- ①健診日(ほぼ全母子が参加)と同日に実施するスケジュール
- ②職員が同じ視点で親子を把握し、経過を追える内容・評価表導入
- ③①②をパッケージ化し、経験の有無等に影響されない質の担保

方法(ポピュレーション準備)

・ハイリスク型からポピュレーション型「親子遊び教室」へ

1歳6ヶ月児健康診査のご案内

1歳6ヶ月のお子さんを対象に健診と親子ふれあい教室『ひよっこ教室』を実施します。お子さんがこれからも元気におびのび育つための1日にしましょう。

★1歳6ヶ月健診はお申し込みが必要です！！★
健診の2週間前までにお申し込みください

お申込みはこちら⇒

【日 に ち】 令和8年1月16日(金)

【受 付】 9時30分～9時40分
※午前中、都合がつかない場合 13時00分～13時10分

【タイムスケジュール】裏面をご覧ください。

【会 場】 ゆめプラザ・那須 集団健診室
※正面駐車場を利用し、正面玄関からお入り下さい。
子育て支援センター入り口からは入れません。

【健診内容】①受付 ②身体計測 ③発達確認 ④親子ふれあい教室
⑤診察(内科・歯科) ⑥歯みがき指導 ⑦健診結果説明・育児相談
※歯科診察がありますので歯みがきをしてお越しください。

【持参するもの】①母子手帳 ②1歳6ヶ月児健康診査票 ③1歳6ヶ月健診用アンケート
④飲み物・タオル
※健診票やアンケートは必要事項をご記入の上、ご持参ください。

〈ゆめプラザ・那須で昼食を食べる方〉
①昼食 ②歯ブラシ(食後の歯みがきにご利用ください。)

〈輸入の方〉
①虫歯予防・口腔機能個人票 ②子どもすこやかファイル
※提出が必要な方へ同封してあります。

【お願い】①欠席する場合は子育て支援センターまでご連絡ください。
②体調不良や身体に発疹等がある時は事前に主治医にご相談ください。

裏面をご覧ください

健診のお知らせ

+

那須町子育て支援センター主催
国際医療福祉大学作業療法学科共催

**親子ふれあい教室
「ひよっこ教室」2025**

お知らせ

お子さんの“できた！”と一緒に見つけてみませんか？

どんな遊び？ 子どもの様子を観ながら一緒に遊びましょう！

「親子遊び教室」というと構えてしまうご家族もいるかもしれません。大丈夫、こちらで用意した“遊び”にお子さんがどのような応答をするかと一緒に観て、楽しそうだったら遊びだけ。「1歳半健診」の午前中、我々と一緒にお子さんの“できた！”を探しましょう。

動いて 瞑って 体をうごかしてみよう！ 座って遊んでみよう！

【対象】1歳6ヶ月～3歳程度(R4.4.2～R6.4.1生)
【場所】ゆめプラザ・那須内
【日程】9月6日(土)、11月14日(金)
1月16日(金)、3月13日(金)
【時間】10:00～11:30(9:45～受付)
【持ち物】母子手帳・水筒・タオル

各回『おもちゃのおみやげ』付き！

何がもらえるかな?? おうちでさらに遊ぼう！

那須町子育て支援センター(ゆめプラザ・那須内)
〒329-3215
栃木県那須郡那須町大字寺子2566-1
tel: 0287-71-1137 詳細情報はこちら→ リピーター大歓迎！！
お申し込みはこちら→

チラシ

方法（ポピュレーション準備）

・ハイリスク型からポピュレーション型「親子遊び教室」へ

時間	流れ
9:30	・1歳6ヶ月健診受付開始 ＊ひよっこ教室打合せ
9:40	・身体計測／発達確認／ 育児相談 ＊ひよっこ教室準備
10:00	ひよっこ教室
11:30	休憩室または一度帰宅し昼食 ＊ひよっこ教室カンファレンス
	休憩
13:15	虫歯予防講話／個別相談
13:30	内科・歯科診察
13:45	健診結果説明・育児相談

振り返りシート

Ver.2025(ひょっこ教室)

介人日:

*このシートは、親子ふれあい遊び教室における子どもの保護者の様子を大まかに把握することを目的としています

氏名	a	性別	男			
生年月日	2024/2/24	年齢	1年6ヶ月			
参加回数	1回目	ご利用状況				
フォローアップ	あり	特記事項				
II. 子どもの様子						
(1)子どもが最も近いものに○をつけてください						
番号	チェック項目	4	3	2		
1	子どものがおもに選んだ遊び(囲碁や将棋など)の内容	遊び(手遊び・絵本)から借りて参加	曲の活動(おはなし、空飛ぶじゅうたん)・ブランコから離れて参加	前半最後の活動(サーキット以外)または、後半の活動(新規・ホールド以外)から離れて参加	導入からクールダウンまで	
2	子ども遊びの中の過ごし方	遊びで遊んでから離れて、最終活動で活動(組み、活動)を楽しむ	遊びにより保護者から離れて遊び(おはなし、お絵かき)	終始保護者から離れて(何をかかわらず)、または、どの活動でも保護者から離れて(何をかかわらず)	終始保護者から離れて(何をかかわらず)、または、終始活動(組み、活動)を楽しむ	
3	表情・感情の表出	喜怒哀楽などは豊かに表現している	喜怒哀楽が必ず見つかる(必ず笑顔や笑い声)	喜怒哀楽が読み取れない(緊張や硬い)	喜怒哀楽が読み取れない(無表情)	
4	保護者と大人との関わり方	他の人に接する時、心地よい印象	他の人に接する時、心地よい印象	他の人に接する時、心地よい印象	他の人に接する時、心地よい印象	
5	[※場面別・社会性]	他の人に接する時、心地よい印象	他の人に接する時、心地よい印象	他の人に接する時、心地よい印象	他の人に接する時、心地よい印象	
6	言葉かけ・状況的理解	言葉かけは自分の状況を見ています(理解している)	言葉かけは自分の状況を見ています(理解している)	言葉かけは自分の状況を見ています(理解していない)	言葉かけは自分の状況を見ています(理解していない)	
7	悪意のある言語・非言語の発出	2次文の発出: また、自分の非言語的表現(苦笑、クラレ等)にて発出。(アーリーフィード)	手相手にて握手の発出、または、自分の言語的発出(指差し、フレンチ等)が見られる	手相手にて握手の発出、または、自分の言語的発出(指差し、フレンチ等)が見られる	手相手にて握手の発出、または、自分の言語的発出(指差し、フレンチ等)が見られる	
8	他の人の視線の合い方	他の人の視線と合わせて、他者と一緒にいる	他の人の視線と合わせて、他者と一緒にいる	他の人の視線と合わせて、他者と一緒にいる	他の人の視線と合わせて、他者と一緒にいる	
(2)子どもが特に興味・関心があると感じられた活動に○をつけてください(複数可)					合計 / (24) 32	
(3)感覚の偏りについてあるものはまるに○をつけてください						
現対: 過敏・鈍麻 感覚: 過敏: 鈍麻 訓覚: 過敏: 鈍麻 固有覚覚: 過敏: 鈍麻 感覚: 過敏: 鈍麻						
(4)その他、子どもの様子について残しておきたい記録があればご記入ください						
II. ご家族の様子						
ご家族の様子についてお聞きします。ご家族の様子として最も近い様子に○をつけてください。						
番号	チェック項目	4	3	2	1	特記事項
1	遊びの中で子どもをよく觀察しているか	子どもをよく觀察している	子どもをますます觀察している	子どもをあまり觀察していない	子どもを全く觀察していない	
2	子どもを見守るご家族の振舞	常に子どもの様子に応じて余裕を持って過ごす	まずまず子どもの様子に応じて余裕を持って過ごす	あまり子どもの様子に応じて余裕を持って過ごしていない	全く子どもの様子に応じて余裕を持って過ごしていない(感情が無い・怒り・緊張等)	
3	子どもからの働きかけへの応答	常に機知・タフシイ感じで子どもに応じている	まずまず子どもへの働きかけに応じている	あまり子どもの様子に応じて余裕を持って過ごしていない(感情が無い・怒り・緊張等)	全く機知・タフシイ感じで子どもに応じていない	
4	ご家族の子どもの距離感	常に子どもの様子に応じて適度に距離を保てる	まずまず子どもの様子に応じて適度に距離を保てる	あまり子どもの様子に応じて距離感が保てない(常に離れてすぐすることが多い)	全く子どもの様子に応じた働きかけ(褒めや応援など)ができない	
5	ご家族の働きかけの様子	常に子どもの様子に応じた働きかけ(褒めや応援など)ができる	まずまず子どもの様子に応じた働きかけ(褒めや応援など)ができる	あまり子どもの様子に応じた働きかけ(褒めや応援など)ができる	全く子どもの様子に応じた働きかけ(褒めや応援など)ができない	
その他、保護者の様子について残しておきたい記録があればご記入ください					合計 / (15) 20	

スケジュール

ルーブリック評価表

方法(事業概要)

・ポピュレーションアプローチ型「親子遊び教室」の運営・有用性検証

実施者:那須町子育て支援センター職員

　　国際医療福祉大学学生及び教員、なす療育園作業療法士

対象者:1歳6か月健診/親子遊び教室対象児及び保護者(55組)

実施場所:那須町子育て支援センター集団検診室

実施日程:隔月第2金曜日(9:30~12:00)

実施回数:5回(7月,9月,11月,1月,3月)

実施内容:

- ①事前カンファレンス・準備:30分
- ②親子遊び実施:90分
- ③アンケート回答依頼(保護者)
- ④事後カンファレンス・片付け:30分
- ⑤アンケート回答依頼(学生・職員)

分析方法:アンケート結果をもとに記述統計、自由記載を整理

方法(親子遊び当日の様子)

・カンファレンスの様子 (本日の参加者・担当確認)



保健師

保育士

・事前準備



方法(親子遊び当日の様子)

・前半(導入と動的活動)の様子



①手遊び・絵本



②お馬の親子



③空飛ぶじゅうたん/ブランコ



④サークット

方法(親子遊び当日の様子)

・後半(静的活動)の様子



お家で⑥を再現できるおみやげ付



⑥やりとり遊び

⑦洗濯ばさみ遊び



結果(参加状況)

・『親子遊び教室』参加状況:

- ①職員:各回7~8名
- ②学生:7月5名 9月6名、11月7名、1月0名、3月4名
- ③参加者:

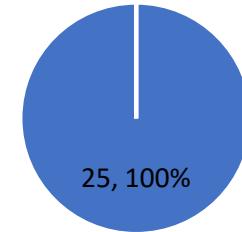
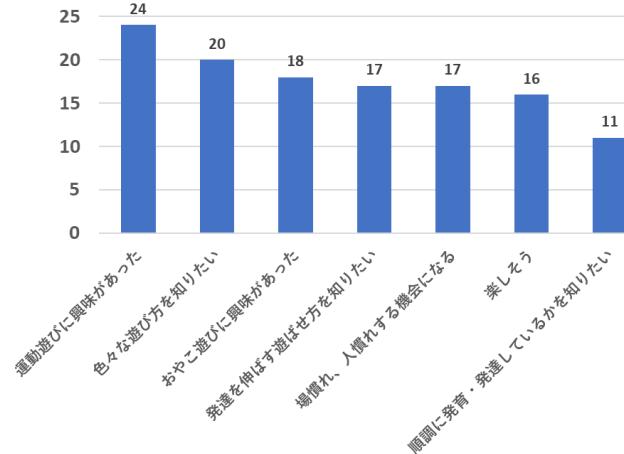
	1歳6ヶ月健診同日 『親子遊び教室』 参加者割合(組)	1歳6ヶ月健診別日 『親子遊び教室』 参加者(組)	『親子遊び教室』 リピーター 参加者(組)	親子遊び 参加者 合計(組)
7月	<u>4</u> /17 (23.5%)	2	3	9
9月	*健診別日(土曜)開催: トライアル	6	4	10
11月	<u>1</u> /12 (8.3%)	1	3	5
1月	<u>2</u> /5 (40%)	2	5	9
3月	/6 (%)	未	未	未
合計	<u>7+α</u> /40	11	15	33

結果(保護者からの感想)

・保護者へのアンケート結果:n=25名

教室に何を期待していましたか? (複数回答可)

実際に参加してみてどうでしたか?



- 期待通りだった
- わからない
- 全く期待外れだった
- まあまあ期待通りだった
- 少し期待外れだった

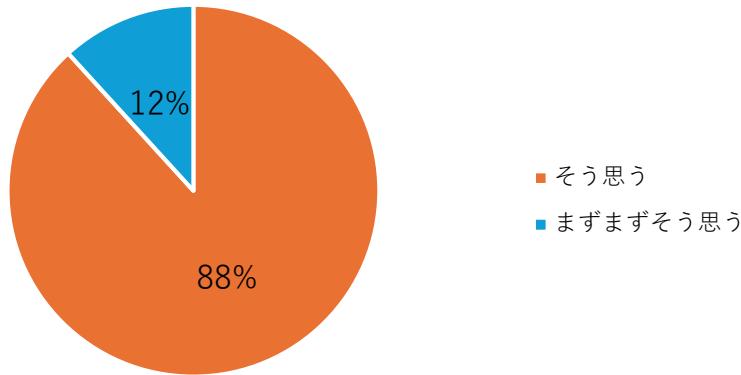
【自由記載より】

- ・託児もあり気兼ねなく参加できるのでとても助かる。
- ・家でも実践できることがあったのでやってみようと思う。
- ・たくさんの人と関わる機会少ないのでよかったです。
- ・こんなに長い時間二人きりで向き合って集中して遊んだのは初めてだったかも。
- ・遊びながらのスタッフのアドバイスが子どもと遊ぶときの気づきや工夫のヒントになる。
- ・最初は一人できなかった遊びも、最後は一人でできるようになりました本人の自信に。

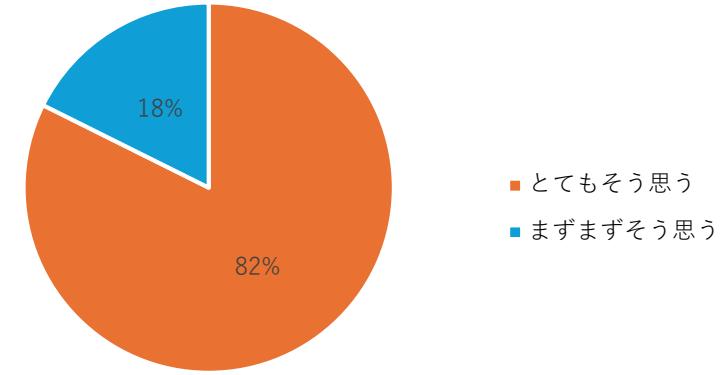
結果(学生からの感想)

・学生へのアンケート結果:n=17名

親子遊び教室に参加し、作業療法学科でこれまでに
学んできた座学や臨床経験は役に立ちましたか？



今後も地域支援活動（親子遊び教室に限らず）に
関わってみたいと思いますか？



【学生の感想より】

◆これまでの座学や臨床経験は役に立っているか？

- ・発達段階や遊びの重要性を、実際の親子観察を通して深く理解できた。
- ・臨床実習で培った観察視点や声かけの工夫が、親子遊びの場面で活かせた。

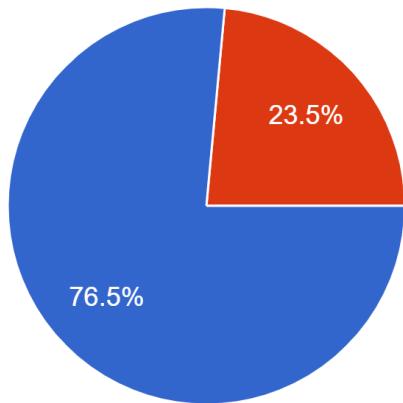
◆印象に残った場面や気づきは？

- ・親子遊びは、子どもの安心感や信頼関係を育てる重要な手段であることが分かった。
- ・子どもの反応の背景を理解し、関わりや環境を工夫することで変化を引き出せると感じた。
- ・子どもだけでなく、保護者や環境を含めた多角的な観察・評価が重要であることが分かった。

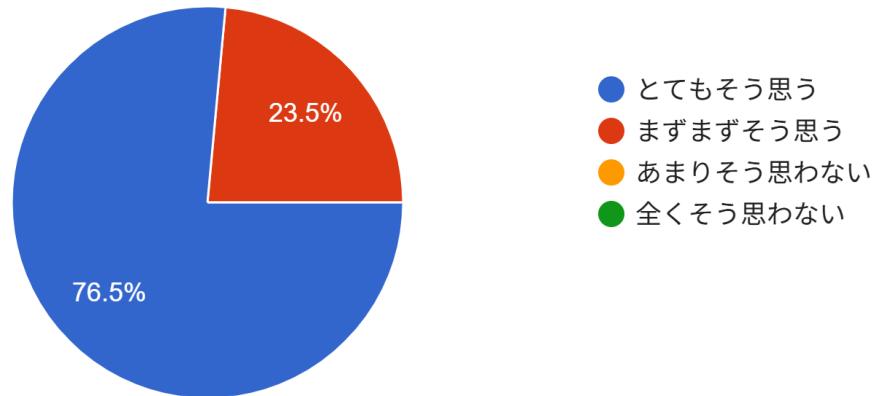
結果（職員からの感想）

・職員へのアンケート結果:n=12名

親子遊びの目標は達成できましたか？



パッケージ化された親子遊び教室（1, 2歳版）をこれからも継続したいと思いますか？



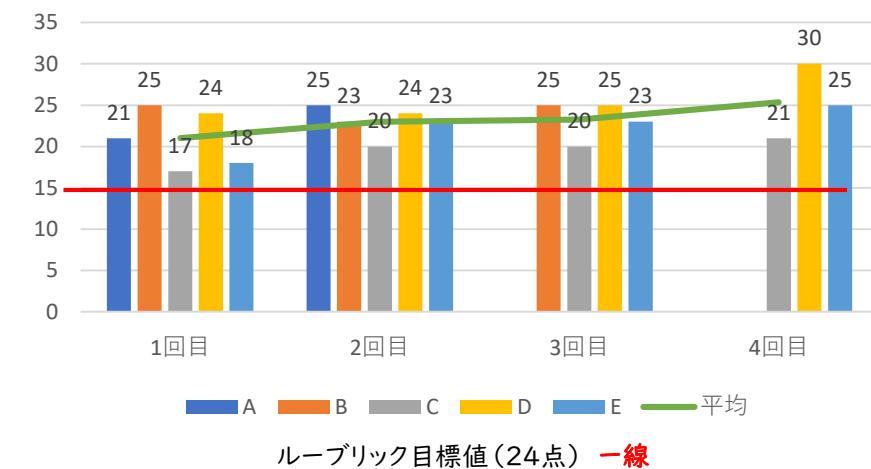
【自由記載より】

- ・各回繰り返し同じ遊びを行うことで、子ども・保護者の経過を追いややすい
- ・リピーターの保護者では、声かけや関わり方、表情の変化が分かりやすい
- ・現在の親子遊びの内容が、支援者にとっても関わりやすい構成である
- ・デジタル化・多様化が進む中で、子育てに迷う保護者へのヒントとなっている
- ・親子で楽しく過ごすきっかけとなり、ふれあい遊びの大切さを体感できる
- ・遊びの中で、支援が必要な親子や気になる点を把握しやすい

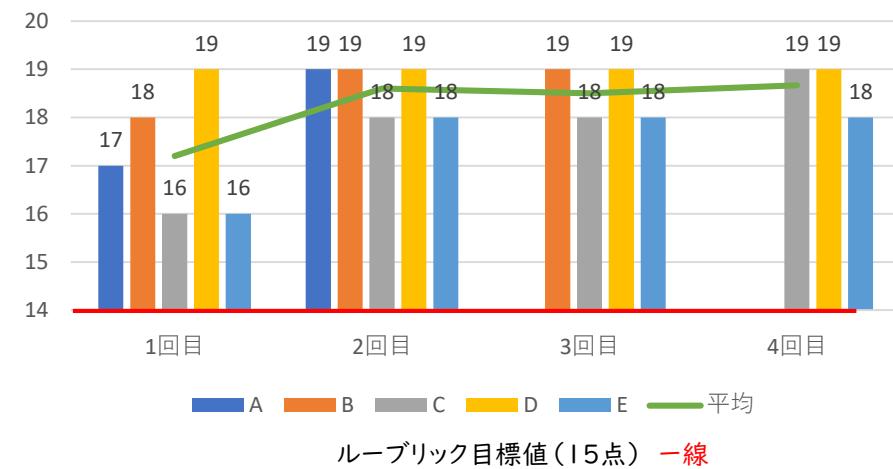
結果(リピーターの存在とルーブリック評価)

・リピーターの存在とルーブリック評価結果の変化: 5名

子どもの参加状況(リピーター)



保護者の参加状況(リピーター)



【結果より】

- 一度参加し、その後、再度参加したい、と希望するリピーターが年間5組存在した。
- 子どもの中に、初回には目標値に達していない(例えば慣れない)児が存在した。
- 保護者は、初回から目標値に達している保護者であった。
- 親子遊び教室に継続して参加した家庭(リピーター)では、子ども・保護者ともにルーブリック評価の値が参加回数を重ねるごとに緩やかに向上・安定する傾向。

考察

ポピュレーションアプローチ型「親子遊び教室」の有用性について：

- ・参加者・学生からは、参加したことに対して肯定的な回答・感想が多く、「親子遊び教室」への家族・学生の参画、満足度は良好
- ・スタッフからは、親子遊び教室のパッケージ化はループリック評価を含めて肯定的な回答・感想が多い
- ・一度参加すると、その後参加する方（リピーター）が存在し、ループリック評価で経過を追うと子ども、保護者に正の変化が確認できた
→「親子遊び教室」は、子ども・保護者・学生・スタッフにとって有用を示唆

課題：

- ・参加者は各回6～10組程度いるが、1歳6ヶ月健診と同日の参加者は4名と限局
- ・限られたスタッフのみで展開にするには、もう少しパッケージ化の工夫が必要
→健診同日の1日参加は保護者にとって負担が大きい可能性
→健診に比べて「親子遊び教室」の大切さ・必要性の認識に職員・家族間で乖離

考察

今後の展望：

- ・『参加しなかった方々』への『なぜ参加しなかったか』の確認（アンケート）・調整へ
- ・ポピュレーションアプローチ型「親子遊び教室」のパッケージ化を目指し、
那須町におけるブラッシュアップと他小規模自治体における新たな導入の検討へ
→今年度対象の1歳6ヶ月健診参加者55名へのアンケート調査を3月に実施
来年度に向けた那須町における「健診」と「親子遊び教室」のセット方法検討
- 学生の参画を続け、地域における課題、自分たちの強みを自らが知る機会へ
- 今回の事業経験を活かし、既に小規模自治体の強みを活かし子育て支援を
展開している塩谷町（人口9,505名）において、1歳以降の幼児が生活する
「こども園、保育園」において、「親子遊び教室」を展開し、保健・保育・教育が
連携して保護者と一緒に子育てに取り組む企画を打診中
- 来年度も改善して事業に取り組むことで、県内の小規模自治体を中心とした
子育て支援体制の整備を目指していきたい